

新ウェブサイト要件一覧

分類	詳細	備考
1	特別なソフトを各端末にインストールすることなく、ウェブブラウザから更新できること。	
2	システム全般	月間セッション数 5,000 以上を安定して処理できる性能を有すること
3	広告バナーを非表示にすることが可能であること。	
4	閲覧・動作環境	次のブラウザ(最新バージョン)を使用した環境で閲覧できるものとする事。 Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、macOS Safari、iOS、Androidの標準ブラウザ
5	Google Chrome及びMicrosoft Edgeのブラウザで編集操作ができるものとする事。	
6	スマートフォンやタブレット端末の利用者が快適に閲覧できるようにすること。ただし、パソコンサイトとスマートフォンサイトは別のサイトではなく、同じページを使用し、画面サイズによって最適化される構造とすること。	
7	ドメイン	発注者が指定するものを使用すること。
8	継続して利用できるよう管理すること。	
9	ドメインの契約は8年間とし、契約期間満了時に発注者にドメインの譲渡を行うこと。	
10	ログイン・ユーザー管理	発注者がID・パスワード認証によりCMS管理画面へログインできること。同時に複数人がログイン・編集できること。
11	管理画面上でユーザーアカウントを追加・編集・削除できること。	
12	投稿管理	CMS内で登録されている投稿を投稿情報(タイトル、カテゴリ、作成者、キーワード、ステータス)で検索できること。
13	作成中は他の作業者が同一コンテンツを編集できないように自動ロックするか、編集箇所が重複しないよう他者が編集している部分が見えること。	
14	コンテンツの更新履歴を確認できること。	
15	公開可能ページ数は100以上であること。	
16	ページ作成	HTML言語を意識することなくページ作成ができること。
17	コンテンツ作成において、基本となる機能は標準的に備えていること。 ・見出し ・太字 ・色変更 ・リスト作成機能(順序付き、順不同) ・文中リンク ・ページ内外へのリンク ・表作成 ・画像の挿入	
18	ページタイトルは必須入力として簡単な操作で入力できること。また、そのタイトルが自動的に本文の見出しとして設定されること。	
19	既存の投稿を基にして、新しい投稿を作成できること。	
20	作成途中で投稿を保存でき、再ログイン後に途中段階から再開できること。	
21	HTMLの知識が無くても、簡単な操作で表が作成でき、見出しやキャプションの設定ができること。	
22	画像ファイル及びPDFファイルをブラウザ上から簡単にCMSサーバーにアップロードでき、ページに挿入できること。	
23	Youtube等の動画を簡単に埋め込み掲載できること。	

24	URL	ページ作成時にシステムがURLを自動で割り振ること。	
25		URLは任意での設定も可能であること。	
26		ページ公開前に作成したページのURLを確認できること。	
27	プレビュー	公開前のコンテンツを公開時と同じ状態でサイト全体をプレビュー表示できること。また、プレビュー画面からリンクをクリックすることでリンク先に遷移できること。	
28	公開・削除	コンテンツの更新日は、自動もしくは手動で入力できること。	
29		ページの公開日時を指定する機能があること。	
30		公開が終了したページは、CMSサーバには非公開状態として保存され再利用できること。	
31	SEO対策	サイト作成時は、SEO対策を行うこと。	
32	アクセス解析	ウェブサイト開設以降の全期間について、全ページ及び各ページのアクセス件数・ログを取得できること。	
33	セキュリティ全般	構築にあたっては十分なセキュリティ対策を講じること。また、情報漏えい対策が十分に講じられていること。	
34		SSL証明書を取得し、全てのページに適用させること。暗号化の規格はTLS1.3に対応すること。	
35		SSL証明書は信頼のおける第三者発行のものを用い、発行元不明または信頼できない扱いにならないこと。	
36	アクセシビリティ対応	「JIS X 8341-3:2016」が示す要件に従ってできる限り対応すること。 なお、同規格が改訂された場合は、改訂内容を踏まえた上で対応すること。	
37		JIS X 8341-3:2016及びウェブアクセシビリティ基盤委員会の示す「JIS X8341-3:2016 試験実施ガイドライン」に基づいた試験を実施し、その結果を報告すること。 なお、同規格が改訂された場合は、改訂内容を踏まえた上で対応すること。	